

船舶事故調査報告書

平成23年7月21日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 山本 哲 也
 委員 石川 敏 行
 委員 根本 美 奈

事故種類	操縦者死亡
発生日時	不明（平成23年4月13日（水） 岡山県瀬戸内市西脇海水浴場出発時～17時40分ごろの間）
発生場所	不明（西脇海水浴場沖）
事故調査の経過	平成23年4月15日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての操縦者からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	ミニボート（船名なし） なし、個人所有 2.72m×1.19m×0.45m、FRP ガソリン機関、1.5kW未満、不明
乗組員等に関する情報	操縦者 男性 65歳
死傷者等	死亡 1人（操縦者）
損傷	なし
事故の経過	操縦者は、釣りのため、本船を車に載せて、平成23年4月13日08時00分ごろ自宅を出発した。 17時40分ごろ、帰航中の漁船が西脇海水浴場の沖で、船首部が少し海面から出た状態で漂流している本船を発見し、連絡を受けた所属漁業協同組合が、18時05分ごろ、海上保安庁へ通報した。 海上保安庁は、19時10分ごろ、本船を引き揚げたが、船内は無人であった。 操縦者は、翌14日08時04分ごろ、瀬戸内市黒島の西方沖で発見され、のち溺死と検案された。
気象・海象	気象：4月13日 08時00分～18時00分 風向 西北西～南南西、風力 2～3、気温 13.2～19.3℃ 海象：海上 穏やか
その他の事項	本船の船外機にロープが掛かっていたが、プロペラには巻き付いていなかった。 操縦者は、発見時、救命胴衣を着用しておらず、西脇海水浴場付近に止めてあった車内に救命胴衣が残されていた。 本事故当日は、操縦者が本船を購入して2度目の釣りであった。 本船は、2分割組立て式であり、船体の検査及び操縦免許が不要であった。 操縦者は、船を所有するのは初めてであった。

	<p>操縦者は、血圧がやや高く降圧剤を服用していたが、健康面で不安な要素はなく、釣りのときに飲酒することはなかった。</p> <p>揚取時の本船には、クーラーボックス1個、魚の入った魚籠^{びく}、アンカー及びオールが1本あった。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>操縦者は、溺死した。</p> <p>本船は、操縦者が08時00分ごろに自宅を出て西脇海水浴場に到着し同海水浴場を出発後、17時40分ごろ同海水浴場沖において無人の状況で発見されていることから、この間において、操縦者が落水して死亡した可能性があると考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>操縦者は、落水して溺水したものと考えられるが、溺水に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が西脇海水浴場付近を出発したのち、操縦者が落水したことにより発生した可能性があると考えられる。</p>	
参考	<p>今後の同種事故の再発防止に役立つ事項として次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救命胴衣を着用すること。 	